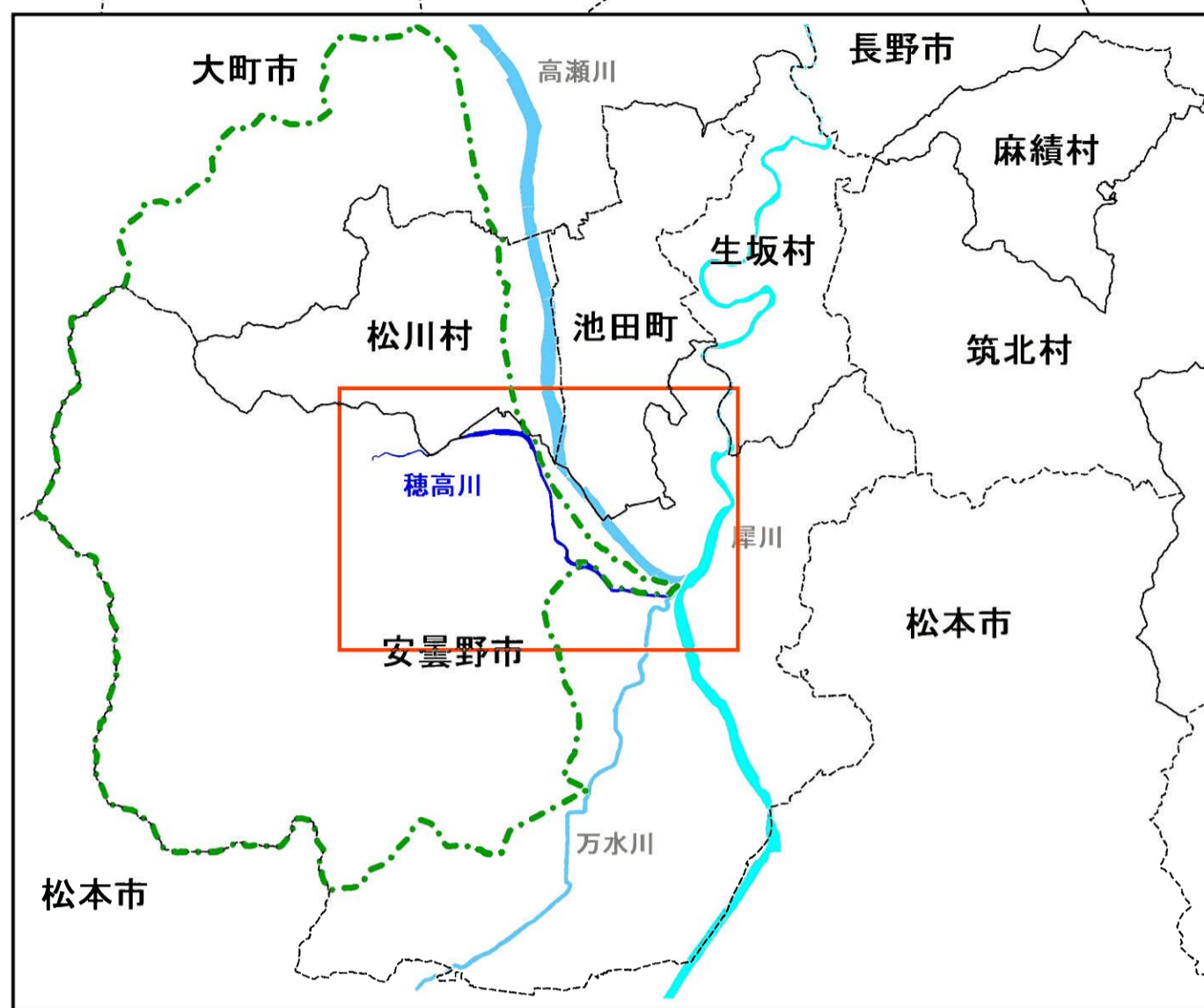


信濃川水系穂高川 洪水浸水想定区域図
(想定最大規模降雨)



信濃川水系穂高川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)

1 説明文

(1) この図は信濃川水系穂高川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図等は、公表時点の穂高川の河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により穂高川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されてない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	長野県
(2) 公表年月日	令和2年2月14日
(3) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(4) 対象となる水位周知河川	信濃川水系穂高川 (実施区間) 左岸: 安曇野市穂高有明(乳川合流点)から 安曇野市穂高北穂高(安曇野大橋)まで 右岸: 安曇野市穂高有明(乳川合流点)から 安曇野市穂高(安曇野大橋)まで
(5) 指定の前提となる降雨	穂高川流域全体に48時間で796mmの降雨を想定
(6) 関係市町村	安曇野市、松川村
(7) その他計算条件等	

氾濫区域を10m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わされていない場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

--- 市町村境界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の指定の対象となる区域

1:15000

この地図は、安曇野市長の承認を得て、安曇野市基本図数値地形図レベル2,500を使用したものです。(承認番号 30都第1875号)